

(6)ワークシート

フランコの人物像

組 番 氏名

★フランコ=ファシスト 論

歴史的事実・時代背景

○フランコは内戦時、()国家である()、()からの支援を受けていた。

- ・()内戦時、ドイツ、イタリア、ポルトガル、バチカンがフランコのスペインを正式なスペイン政府として承認していた。
- ・1973年グアダラハラでの攻防戦で、イタリア軍とスペイン共和国の政府軍が対戦した。
- ・フランコの要請を受けたドイツ空軍は、ゲルニカへ爆撃を行った。

○フランコと第2次世界大戦について

- ・()もフランコに参戦を促そうとしていた。
- ・ドイツ軍支援のため、スペイン全土から、「青い旅団」と呼ばれる義勇軍を派遣している。

★フランコ=伝統的軍人 論

スペインの伝統的軍人とは・・・19世紀以来、()のこと。

歴史的事実・時代背景

- ・1936年、左派の人民戦線が選挙で勝利し、第二共和政がスタート。左派である()側と右派である()が対立、双方の暗殺が激化した。右派である国民戦線側が蜂起し、()が始まる。
- ・軍人であったフランコは、蜂起に巻き込まれるといった形で内戦に参加し、開戦後まもなく、数々の右派、保守政党を一つにまとめ、()を創設、勝利へと導いた。その後、内戦で疲弊していた経済の復興、国際社会への復帰に努めた。

★フランコ=権威主義体制の指導者 論

権威主義体制とは・・・()する体制
<特徴>全体主義の指導者にあるような大衆扇動的な性格を、権威主義体制の指導者は持っていない。

歴史的事実・時代背景

- ・部下に権限を大幅に委譲していた。
- ・閣議では、常に()の意見を聴取し、自分の意見を決定。
- ・フランコは、国際情勢の推移と国内世論の微妙な変化に敏感だった。→内閣をしばしば改造。
- ・第2次世界大戦時は、戦況によって、()を宣言したり、()を宣言したりしている。
 →ドイツが参戦の条件をのまなかったため、参戦はしなかった。
- ・スペイン内戦時に援助されたことがあるドイツ・イタリアと、内戦による疲弊のため食糧支援を受けている

★あなたは、3つの解釈のうち、どの解釈を選択しますか。

私は、フランコを_____と解釈します。

その理由

Blank box for reasoning.

★ほかの人の解釈を記入しましょう。

Blank box for other interpretations.

★今日の授業を終えての感想

Horizontal lines for感想.